



日々初心

市長コラム・日々初心

市長●穂積 志

日本パーテナー協会秋田支部から、市の福祉事業に役立ててほしいと、「第24回NBA秋田チャリティカクテルパーティ」の収益金の一部を寄附していただきました(1月16日)。

雪ふりつむ

太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。
次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。

小学校だったか中学校だったか
今となれば定かではないのですが、教科書に載っていた三好達治の「雪」という詩です。いろいろな

解釈ができそうですが、私は、太郎の家の屋根にも次郎の家の屋根にも真つ白でさらさらした粉雪が降り積もり、その屋根の下では、太郎も次郎も同じように幸せそう

な寝息をたてている、そんな情景が目に見えます。そして雪が外の世界の音すべてを吸い込んでいくかのような静寂が2人の寝息と幸せを一層印象深くさせている、と自分なりに想像していました。

私は昭和32年生まれですが、幼いころを思い起こしますと当時の子どもたちが今よりは雪に親しみ、雪を楽しんでいたように感じます。近頃の日吉神社脇の斜面を利用したスキーやそり遊び…。雪合戦や新雪を踏み固めての迷路

遊びなどは町内至る所で見られました。今は空き地の状況や道路・交通事情の違い、ゲームの普及など子どもの遊び自体も変わり、そのまま当時に戻るということは難しいにしても、雪は家族や地域の絆づくりにも一役も二役も買って来たように思います。

このように穏やかに降る雪であれば一面の銀世界がまちに輝きや潤いをもたらすのですが、今冬のような大雪ではそうとばかりは言

つてられません。今冬の初雪は平年よりも2日遅く、平成22年と同じ11月15日でしたが、気象庁の観測データによれば、12月の降雪量は12月として観測史上5位の99㎝を記録し、過去10年では「平成18年豪雪」に次ぐ降雪量だったようです。また、これまで(1月20日まで)の最深積雪

は1月13日に48㎝を観測し、平年(13㎝)の3倍以上となつています。さらに特徴的なのは、12月の平均気温が平年の2・9度より1度以上も低い1・8度で、低温が続いたことにより、降った雪が解



「平成18年豪雪」。厳しい冬をみんなで協力して乗り切りました(大住小学校の通学路を地域みんなで除雪)。

けずにそのまま残ってしまったというところらしいです。

本市としても、安全・安心で少しでも快適な市民生活に向け、今後とも除排雪対策に全力を尽くしてまいります。市民のみならずには除雪の際に玄関先や車庫前に寄せられた雪の始末などご苦労をおかけしますが、町内会・地域の排雪作業時のダンプロック無料貸し出し(7ページをご覧ください)を利用していただくなど、市民協働による除排雪への一層のご理解とご協力をお願いします。

「光の春」といわれる2月を乗り切ればもう弥生3月。春はすぐそこまで来ています。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>